

第2回人生支援策定委員会 議事録

■日 時：平成28年10月26日 13:30～15:30

■場 所：香南市役所3階 第4会議室

■出席者：坂本委員長(高知学園短期大学)、小松副委員長(市社会福祉協議会)、中川委員(市民生委員児童委員協議会連合会)、西委員(市人権擁護委員会)、島崎委員(市高齢者クラブ連合会)、金子委員(市手をつなぐ育成会)、中元委員(市小中学校PTA連合会)、中澤委員(市保育所保護者会)、江渕委員(城山高校) 10人

欠席…近森委員(シルバー人材センター)、大庭委員(食生活改善推進協議会)

【行政委員】島村委員(市健康対策課)、関川委員(市福祉事務所)、近森委員(市生涯学習課)、大石委員(市高齢者介護課)、長野委員(市こども課)、光明院委員(市地域支援課)

6人

■傍聴者：2名

■事務局：地域支援課 近藤、本田

【次 第】

1. 開会の挨拶(委員長)

2. 資料説明(事務局：地域支援課)

◆H28年度の進捗状況と評価

資料1

3. 質疑応答

<1>委員

別冊2-No.20 スポーツ少年団が運動施設を優先的に予約できる施策を実施している。

先日、体育館を予約する際に、普段利用しているところがいっぱいどこかないかと探していたときに小学校の体育館が空いており借りようとしたが、校区外ということで借りることができなかった。そのため、香美市の体育館まで練習に行っている。せっかく香南市内の体育館が空いているのに使えないのはもったいないと思うが、その理由はなぜかを知りたい。

○行政委員

小学校等は学校開放ということでやっけて、地域住民へ解放することを主の目的としており、校区外の方へお貸しすることが現在出来ないようになっております。“開かれた学校作り”がどこまでの住民を対象にするのかは今後検討していかなければならないところだと思いますが、今のところ小学校の管轄地域住民にのみお貸ししております

○委員

部員のなかには野市小学校の子もいれば佐古小学校の子もいて、現在使っているのは佐古小学校の体育館ですが、野市小学校の子からすれば「なぜ自分たちの学校の体育館なのに使えないのだろう？」と思う子もいます。

○行政委員

合同チームは、基本的に佐古小学校を練習場所として活動しているチームとして登録しているので、別の小学校の体育館を使用するのは難しいです。

○委員

何とか使えるようにしていただければありがたいです。

○行政委員

検討してみます。

<2>委員

別冊2-No.29 小学6年生と中学3年生を対象に行っている社会とのつながり意識を高める推進（児童生徒の夢や役立ち意識の割合）

小学6年生では意識が高いのに、中学3年生になるまでのわずか2年でここまで意識が低くなるのであれば、中学1・2年次に調査を行うなどの対応をしたほうがいいのではないかと。

○事務局

後日回答いたします。

○学校教育課長【後日回答】

この項目に関する単独の調査は行っておらず（現在、児童生徒対象の調査、アンケートがたくさんあり、児童生徒や学校の負担をできるだけ増やさないように、独自のアンケートは行っていません）、全国学力学習状況調査に含まれている項目の中から、該当する項目「将来の夢や目標を持っていますか」で見えています。

全国学力学習状況調査は全国のすべての小中学校で実施されているため、全国の状況や高知県の状況と比較して見ることができます。中学校1、2年生の状況もわかればよいのですが、この調査は小6と中3が対象の調査です。

小6と中3の比較ですが、香南市の指標は強い肯定群「持っている」の数値を目標値としており、高い目標を掲げています。「やや持っている」を含めた肯定群は小6で89.4%、中3で76.1%と、全体的には中3でも夢を持っていると答える子が、持っていないと答える子より多い状況ではあります。強い肯定をしなくなるのは、中学校になると、小学

校と比べて自分の力や特徴を客観的に受けとめ、夢をより現実的なものとして捉えるようになるのではないかと考えられます。

全国の数値も同様の傾向になっており、数値は小学校も中学校も全国数値と比較して香南市はいずれも高くなっています。

小6	香南市	「持っている」	71.7%	「やや持っている」	17.7%
	全国	「持っている」	68.6%	「やや持っている」	16.7%
中3	香南市	「持っている」	46.8%	「やや持っている」	27.3%
	全国	「持っている」	45.1%	「やや持っている」	26.0%

今後は中学生も現実的でありながらも、より具体的に、夢に向かって、自分の特徴を生かし、力を伸ばしていく気持ちを高められる取組を進めたいと考えます。

<3>委員

別冊2-No.83 軽スポーツの推進（パークゴルフ・ペタンク参加者数）

全国的に見てもパークゴルフよりグランドゴルフの方が盛んで、香南市にはグランドゴルフの強豪チームがいるのに、グランドゴルフが指標に入っていないのはおかしいのではないかと。

○行政委員

香南市内で生涯学習課主催のグランドゴルフの大会がございませんので、ここではパークゴルフの大会のみを指標とさせていただいております。

○委員

全国には県立のグランドゴルフ競技場があるのに高知県にはないということで、認識が低いのも疑問である。

○委員長

グランドゴルフについては香南市主催の大会がないとのことですので、今後検討させていただければと思います。

<4>委員

別冊2-No.30 地域子ども見守り隊

現在、赤岡小学校を中心に学校支援の活動を進めていて11月1日に東部教育事務所の管轄で研究会がありますが、香美市の参加者は多いが香南市内の参加者が少ない。せっかく会場が赤岡小学校なのに参加が少ないというのは、いまひとつ。もっと参加があってもいいのでは？と思う。

○事務局

後日回答いたします。

○学校教育課長【後日回答】

今回の研修会への参加者は教職員の参加者は香南市が赤岡小学校を除いて8名。香美市が6名で、参加教職員数は香南市が多いですが、その他のコーディネーター、ボランティアなどの参加が香南市はたいへん少ない状況です。香美市は全小中学校に学校支援地域本部事業が立ち上げられていることありますが、コーディネーターやボランティアの方々は仕事を持たれている方も多いのではないかと考えられる中で、たくさん参加があることは学校からの呼びかけもしっかりされていたのではないかと思います。香南市も、市教委から支援本部の設置されていない学校からの参加要請について、授業日のため、なかなか複数の教員は出にくい状況ですが、参加についての呼びかけが必要であったかとは思いますが、また、ボランティアさんなどの参加についても、もう少し各学校で呼びかけてもらうなど、参加要請の工夫も必要であったかとは思いますが、学校支援地域本部の取組はたいへん良い取組で成果にもつながっていることから、この取組を進める学校が増えていこう、研修の成果や内容を市内の学校には広めさせていただきたいと考えています。

< 5 > 委員

別冊2－No.31・54 DV相談窓口

この窓口がどのように運用されているか教えていただきたいです。

○行政委員

まず警察に連絡が入りその後DV相談窓口で連絡がくるものがほとんどです。支援の対応としては相談センターへの一時保護や、子どもが居る場合は支援施設への入所等を行っております。直接窓口に来られるケースも数年前にはありましたが、今はほとんどが警察からの連絡です。

○委員

直接人権相談を受けることもあり、悩んでいる方が多いと思うので相談窓口が必要だと思う。

○行政委員

市の総合的な窓口は人権課となっており、広報で市民へ呼びかけています。また、H22年度から公共施設や民間ではフジグランなどの女性用トイレへ相談センターの情報が掲載された名刺サイズのを貼っています。

○委員長

全体的な問題は窓口として人権課がありますが、DVになると専門的なことになるので警察や女性相談所、児童相談所など特別な部署があると思います。また、DVなど緊急性を要する場合は警察などに行かれる方が多いようです。窓口として人権課があるということをもっと広報等で周知して行けたらと思います。

< 6 > 委員

別冊2－No.10 市のホームページのアクセス数

どういった内容のもので、ホームページへのアクセス数がどのように活用されているのかを詳しく知りたいです。

○行政委員

今年の5月から、ホームページに子育てのサイトを設けまして、各課の情報を集約しておりそこへのアクセス数をカウントしております。また、メルマガに登録していただいた方には月に1回、行政で行っている子育て向けの行事や子育てに関する情報をお届けしております。

○委員

見させていただきましたが情報がたくさん載っていて素敵なホームページでした。

○行政委員

ありがとうございます。

○委員長

若い世代の方はメルマガ等で情報を得ているので、活用していけばより良くなると思います。

< 7 > 委員

別冊2－No.25 養護相談利用者数

どのような相談があるのですか？

○行政委員

制度に関する相談が多いです。

○委員

10年ほど前に、障害のある子どもを持つ親が相談し合える場所を作りたいということで福祉事務所に相談をして、ふれあいセンターを活用させていただいています。10年が経ち集まる方が少なくなっていて活動が消えそうになっています。相談をしてくれたら相談にも乗れますが、どのような相談があるか教えていただきたい。

○行政委員

やはり制度に関する相談が多いです。サービスを利用する際には計画書を作成しなければなりません。現在、事業所3箇所をお願いをして計画書の作成をしております。

4. 資料説明（人口減少問題を考える部会） 事務局

◆人口減少問題を考える会の検討課題の取り組み状況

資料2-1、2-2

・全4回の会議（20~40代の子育て世代・未婚の職員15名対象）での施策の説明と新たな事業提案のまとめを説明。

○委員長

今後これらの施策を提案していきたいと思っておりますが、ご意見をいただけますでしょうか。

<1>委員

少子化についてですが、一番大きな原因は高知には良い企業の働き口がないことで若者が流出していることです。働きたいと思うような働き口を用意することが大切だと思います。また、核家族化が進み、子どもを見てくれる人（祖父母）がおらず子育てに不安を抱き、3人目を生み育てる人が少なくなっている。自分自身の周りでも子どもが2人の家庭が多い。さらに、教育の面でも進学したいと思える学校がないため、有名大学に進学できていない。中央官庁に高知出身OB・OGがほとんどおらず有名企業の誘致がなされないため、若者が働きたい企業がなく県外に出て行っている。

○委員長

人口減少を考える会ということでいろいろな切り口があると思いますが、この会では人口を増やすことを目的に行っておりまして、市町村によって目的は違って人口を増やしていくだけではなく住んでいる方の幸福度をあげることを目的としている市町村もあります。人口を増やしていくのには、ということでこのような2つの提案が出てきておりますのでこの提案を市民みなさまがどう考えるかという点で意見はいかがでしょうか。

<2>委員

香南市はニラが有名ですが、最近では後継者不足で農地を更地にして売りに出している生産者の方がたくさんいらっしゃると思うので、PRをして移住定住へつなげたらどうでしょうか。移住者の方にニラでアピールしてニラを作っていただく等。

○行政委員

私どもも東京と大阪へ移住フェアに毎回参加しております。だいたい20代~40代の方は基本的に住むところと仕事を必要としており、就農希望の方は割と少ない方です。市としては3年間、地域おこし協力隊として就職先の確保をしていきたいと思っております。就農希望の方向けには11月4日に住宅管財課、建設課、農林課、農業委員会、こども課、商工水産課と一緒に移

住に向けた取組ということで話し合いをさせていただく予定です。やはり、移住者を定住につなげるには就農をはじめとした働き口が必要だと考えております。市としては、平成29年度に向けて、就農に特化した施策を考えているところです。

○委員長

今回はお金の面での支援、協力隊、市内企業の移住者枠ということで三本の柱で提案がありましたが、この三本の柱についてご意見はございますでしょうか。

<1>委員

現在高校からの就職率は非常に良いです。しかし、十年先を見据えたら業種や勤務業態は変わっていくと思います。コミュニケーションを必要とする仕事（教員、医者、福祉関係）や人手不足である建設業界が残っていくと思うが、業種にこだわらなければ高校からの就職率はいい。本論ですが、高校生への補助金ということで非常に嬉しく思います。貧富の差が激しい時代において、裕福な家庭なら四年制大学への進学や将来が保証される可能性が高いが、所得が低い中で手当が一律でない高校生活をどう送るかに行った時に、まずお金がかかります。アルバイトをして生活費にあてるために部活が出来ない生徒や、修学旅行に参加出来ない生徒もいます。そのような貧富の格差があるので、とても配慮のある手当だと思います。

○委員長

貴重なご意見をいただけて大変ありがたいと思います。県外の学校では、積極的にアルバイトをさせているところもあります。たとえば、通常アウトソーシングされる校内の掃除を学生にアルバイトとしてさせたりしています。高知県内ではよく高校生がコンビニでアルバイトをして学費を貯めているので、何か良い案があればと思います。また、地域おこし協力隊の任期は3年間ですが、任期終了後も定住してほしいということは就職先をどうするかが問題だと思います。

○行政委員

市の職員の中にも協力隊として香南市に来て、現在は社会人枠で市の職員として働いている者がおります。また、保育士も人手不足ということで、各課に臨時職員等も含め呼びかけをしていきます。さらに、企業への声がけも行い、なるべく香南市へ残ってもらえるようにしていくつもりです。

○委員長

任期終了後もその土地へ残る方のほとんどは起業しているので、起業するノウハウを養えば定住にもつながるのではないのでしょうか。（古民家再生カフェ、外国人を対象にした民泊等）

○行政委員

平成29年度に向けて、2名の協力隊員を採用する予定です。また、空き家対策として東京から移住してきた方を雇用して、移住希望者に香南市の良さを伝えてもらっております。そういった面も含めて、様々な人材登用をして広げていきたいと思っております。

5. 資料説明（重点施策の進捗状況） 事務局

◆重点施策の進捗状況について説明

資料3-1

- ・香南市ウェルカム移住・定住促進
- ・出会いの場提供、ライフプランセミナー実施
- ・不妊治療の助成拡大

資料3-2

- ・香南っ子夢実現プロジェクト
- ・香南まるごとポイント制度

資料3-3、3-4、3-5

- ・ファミリーサポートセンター事業

資料3-6、3-7

○委員長

これらの重点施策に関してご意見はございますでしょうか。

<1>委員

ファミサポについてですが、子どもさんを預かるのは自宅でしょうか？

○行政委員

基本的には自宅預かりです。

○委員

まかせて会員をしたいと言っている人は何人かいるが、自宅に猫が居るという理由から躊躇している人がいるので、どこか自宅以外の場所を用意してはいただけないでしょうか。

○行政委員

第1回の講習会の時にも会員さんの中から同意見が出ましたが、子どもを集団の中で預かるものではなく自宅が基本となります。一度自宅訪問をしてマッチングを行うので、飼い猫がいれば猫が居ても良いという方を受け入れることとなります。なお、登録するとき自宅に猫がいる旨を書いていただければありがたいです。

○委員長

利用後に、お互いの感想をフィードバックできるようなシステムはあるのでしょうか。

○行政委員

お互いがセンターへ報告するようにしております。

<2>委員

香南っ子夢実現プロジェクトについてですが、いいアイデアだと思います。ただひとつの配慮としてトップダウンのように感じられるので、学校側からの主張を反映するボトムアップ的な配慮があればどうかと思いました。

○行政委員

今回、アンケートの対象が6年生で実現までの期間があまりに短いので来年は5年生にしようかと思っております。それが学校ごとになると実現という形にしていきにくいと思い、アンケートをとらせていただきましたが、アンケートの取り方を検討させていただきます。

○委員

私が考えるのは、学校教育課で予算を取り各学校で夢を出してもらい、どこかで審査した上で予算を割り当てれば自発的な意見が出やすいのではないのでしょうか。

○行政委員

助成をして学校で取り組んでもらうという協力はしてもらわないといけませんし、夢ごとに協力要請をするところも違ってくると思います。学校単位でというよりは個人の夢を選考して実現に結びつけたいと思っております。

○委員長

高知市では小学生にチームでプレゼンをさせ、選考するやり方をしていると思います。

○行政委員

そういう方法も良いですね。

○委員長

今までの全体をとおして何か意見はございませんでしょうか。

<3>委員

人口減少問題を考える部会についてですが、部会をする際に人口が増えている他市町村や国外

の事例を参考にしていますか？また、子ども手当の拡大も最初は飛びつくので人口は増えると思うが継続的に増えるとは思えないので、子育て世代の住民税を半額にする等の市独自のやり方を考えて行って欲しいと思います。さらに、不妊治療の助成拡大についても実態把握が難しいと言っていました、もっと広報の方法を考えていくべきではないでしょうか。(病院で香南市民が不妊治療に来たら制度の紹介をする等)

○行政委員

国内の事例は勉強した上で話し合いをしました。今いる人口を減らさない施策と外から呼び込む施策という二つの面から考えております。

○行政委員

相談体制をどうしていくべきかを話し合っております。どのタイミングでお知らせするのが難しく、婚姻届を受け取りに来たときに不妊治療の話をするのかなどもあり、機会を見つけて「年齢が高くなるにつれて妊娠しにくくなりますよ」という教育は若いうちから必要だと思っております。また、具体的な相談がきたときに治療の大変さのサポートや精神的なサポート等の支援体制の充実も考えております。

○委員長

実態が掴みにくいということで、不妊治療をされる方はネットを駆使して口コミなどから病院を探されると思うので、病院のHPに市のリンクを貼らせていただく方法もあるかと思えます。また、大学受験者数をみても高知県外からの受験者が減っている可能性があり、地震への不安が原因だと思われるので、大きな視点で考えていかなければならないと思えます。

6. その他 (今後の流れ)

資料 工程表 (H28年度) 2016.10.25New

3回目の策定委員会は2月9日(木)13:30~を予定。検討事項は、平成28年度の取組状況の確認、実績の見込み、29年度に向けた新たな取組の確認。

7. 閉会の挨拶 (委員長)